

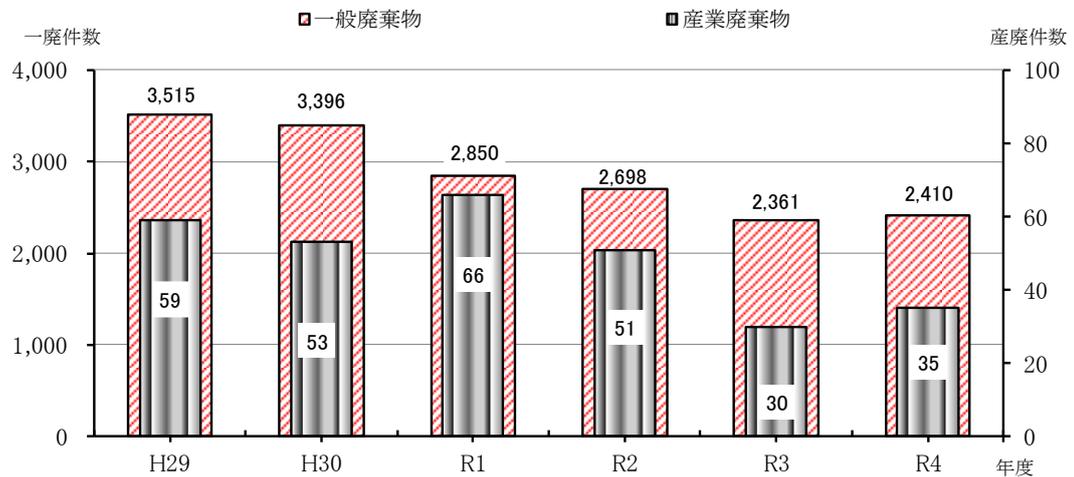
## 令和4年度中に市町村及び県が対応した廃棄物不法投棄及び野外焼却の状況がまとまりました。

不法投棄・野外焼却の根絶に向け、皆様の御協力をお願いします。

### 1 不法投棄の発見状況

一般廃棄物の発見件数は、H30年度から減少傾向となっています。

また、令和4年度の不法投棄発見件数全2,445件のうち一般廃棄物は2,410件であり、全体の約98%を占めています。

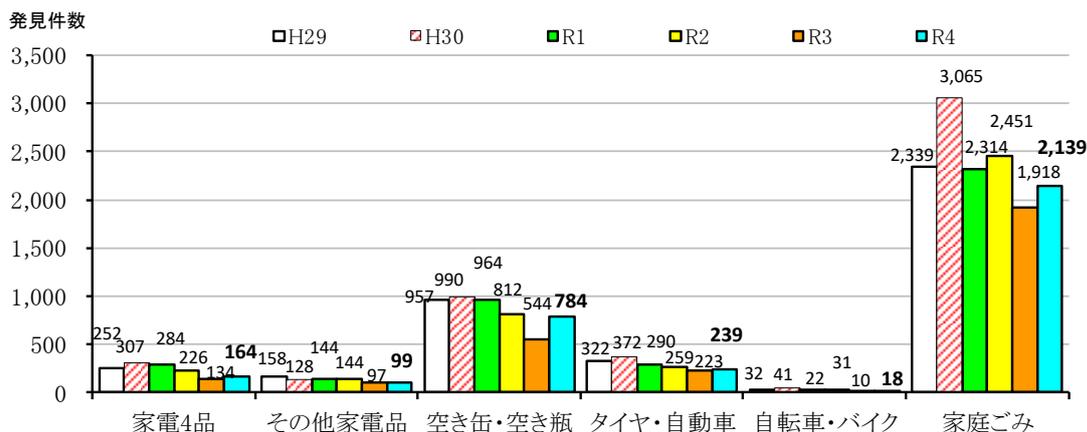


(注) 産業廃棄物には混合(産廃+一般)を含む。

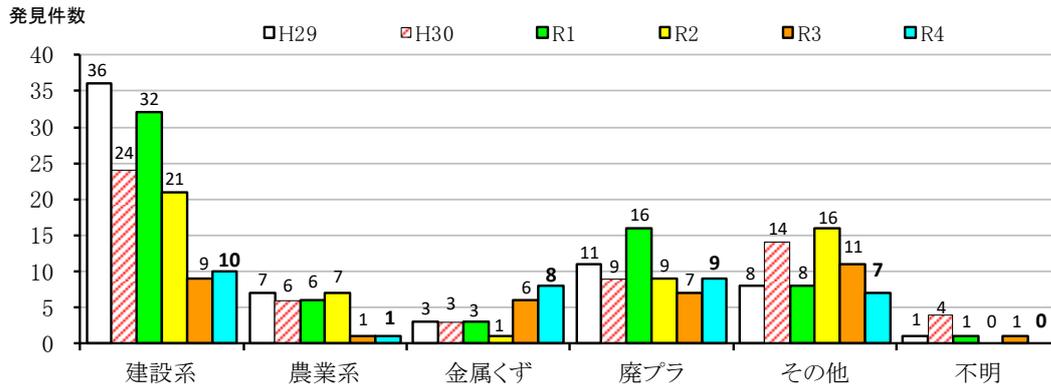
区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般廃棄物	3,515	3,396	2,850	2,698	2,361	2,410
産業廃棄物	59	53	66	51	30	35
計	3,574	3,449	2,916	2,749	2,391	2,445

### 2 不法投棄廃棄物の種類

一般廃棄物では、依然、家庭ごみの不法投棄が多くを占めています。

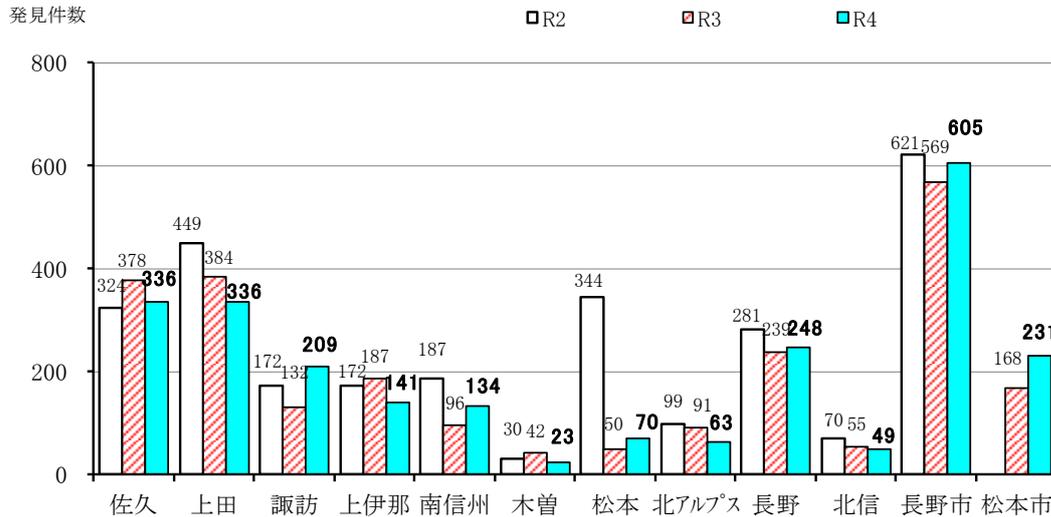


産業廃棄物では、建設系廃棄物や廃プラの割合が依然高くなっていますが、金属くずの割合も増加傾向にあります。



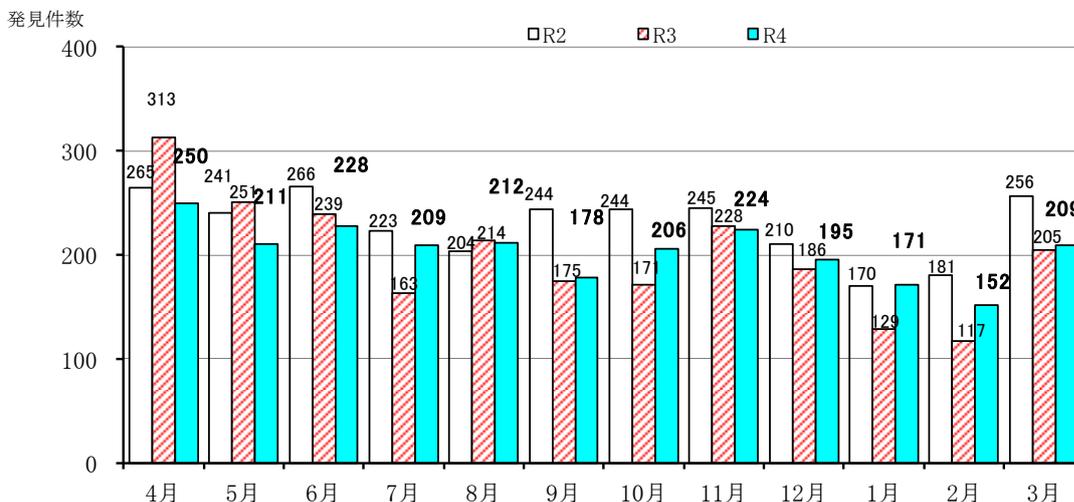
### 3 不法投棄の地域別状況

不法投棄の発見件数は長野市が最も多く、続いて上田地域振興局等の順になります。  
(R3年度より松本市が中核市に移行したことから、市単独で集計しています。)



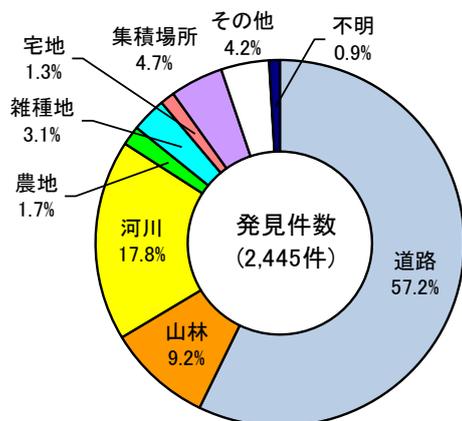
### 4 不法投棄の月別状況

冬は雪に覆われるため発見が少なくなります。



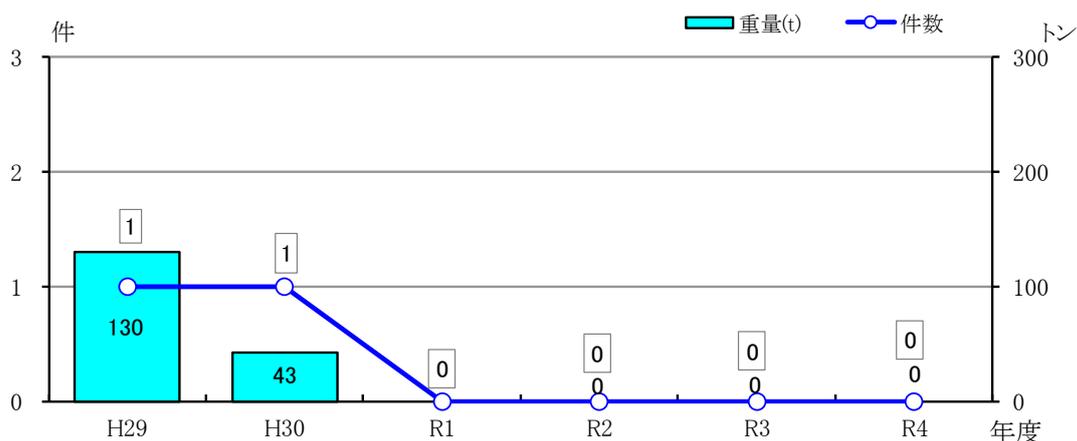
## 5 不法投棄の発見場所

不法投棄は、人目につきにくい道路、山林、河川などで多く発見されています。



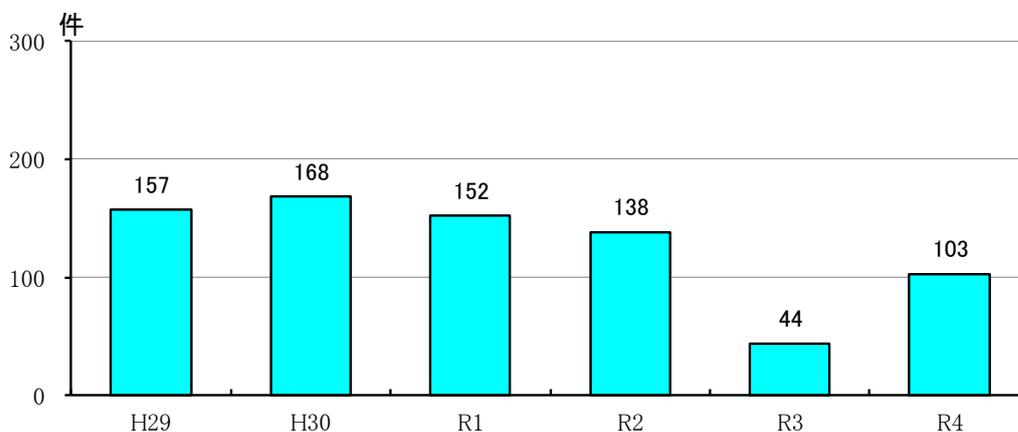
## 6 大規模不法投棄の状況

産業廃棄物の大規模不法投棄（10 t 以上）は、平成29年度、30年度に各1件発見されています。



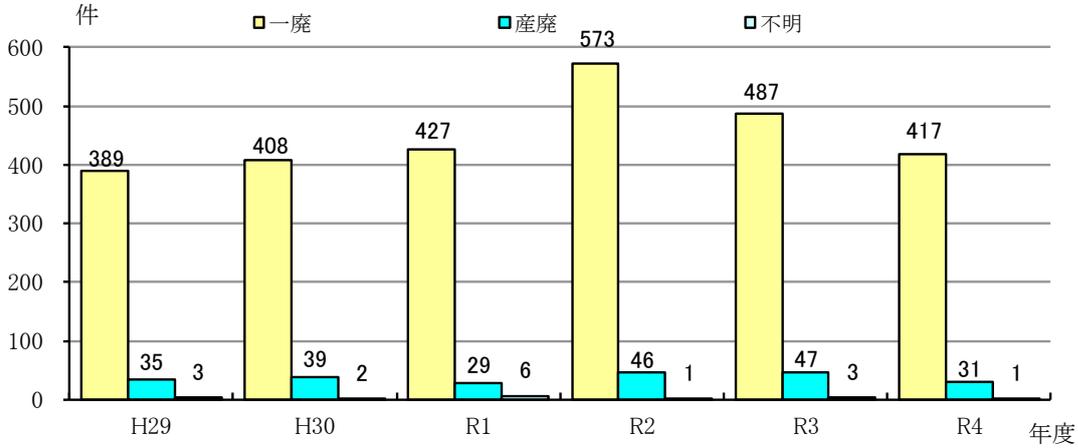
## 7 不法投棄に含まれるテレビの発見件数

地上波デジタル化に関連し、平成23年度にテレビの不法投棄が増加して以降、令和元年度からは概ね減少傾向となっています。



## 8 野外焼却の発見状況

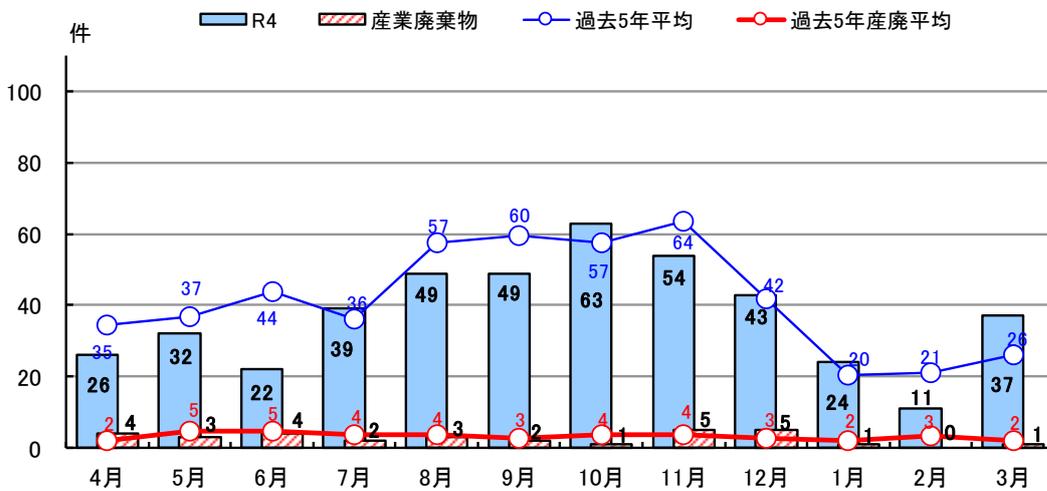
令和4年度の野外焼却の全発見件数449件のうち一般廃棄物の野外焼却は417件であり、全体の約92%を占めています。



区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般廃棄物	389	408	427	573	487	417
産業廃棄物	35	39	29	46	47	31
不明	3	2	6	1	3	1
計	427	449	462	620	537	449

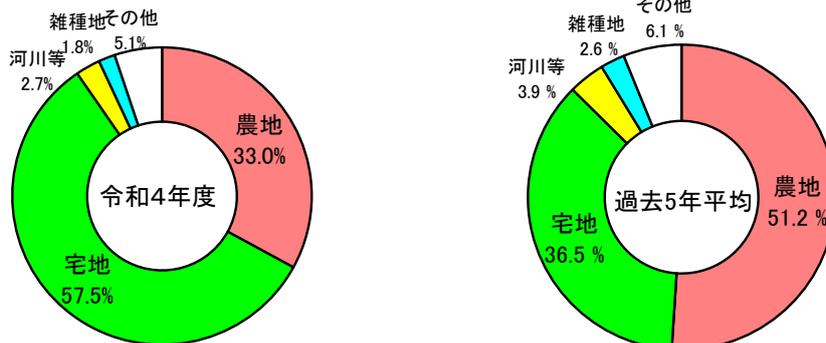
## 9 野外焼却の月別状況

野外焼却は、冬は発見件数が少なくなっています。



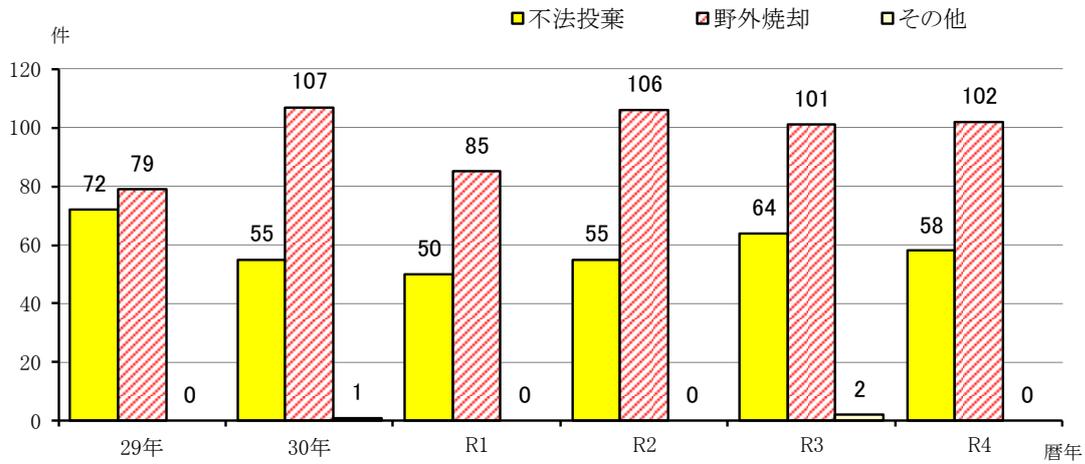
## 10 野外焼却の発見場所

発見場所としては農地・宅地が全体の8割以上を占めています。



## 1.1 警察において検挙した廃棄物処理法違反件数

不法投棄の検挙件数は昨年より減少しましたが、野外焼却の検挙件数は増加しました。



資料提供：長野県警

## 1.2 廃棄物処理法違反の罰則

不法投棄や野外焼却は、自然環境や生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。原因者は撤去を求められるとともに、重い刑罰が科せられます。

### 刑事処分

個人	5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金、又はこの併科
法人	3億円以下の罰金